

第1回定例会の概要

令和4年第1回定例会は、2月25日から3月24日まで28日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、茨城県犯罪被害者等支援条例、茨城県小規模企業振興条例、2023年主要国首脳会議(G7サミット)関係閣僚会合の茨城開催を求める決議、知事から、令和4年度茨城県一般会計予算などが提出されました。

代表質問は、大井川知事の県政運営の基本姿勢、県政運営の基本方針、新型コロナウイルス感染症対策の強化などの項目について行われました。(3~4面)

一般質問は、つくば地区の人口増加に対する県立高校の対応、コロナウイルス感染症対策から考える国と地方の役割、茨城県ケアラー・ヤングケアラーを支援し、共に生きやすい社会を実現するための条例に基づく取組などの項目について行われました。(5~7面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、東日本大震災の教訓を踏まえた災害時情報の伝達方法、ヤングケアラーの実態調査などを議論しました。(8~9面)

予算特別委員会では、G7関係閣僚会合の誘致、本県農業の競争力強化などの質疑を行いました。(10面) 今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、決議などの89件の議案が可決、同意、承認されました。

オンライン委員会を開催しました

3月10日の総務企画委員会において、災害時を想定し、オンラインで執行部からの説明聴取などを実施しました。

今後、課題などを検証し、円滑にオンライン委員会を開催できるように取り組みます。

令和4年1月臨時会の概要

令和4年1月臨時会は、1月28日に開かれました。

知事から、新型コロナウイルス感染症対策など国の経済対策に伴う補正予算に早急に対応するため必要な予算に関する令和3年度茨城県一般会計補正予算、専決処分報告などの議案が提出され、各会派から、提出議案について代表質疑が行われました。

また、議員から、新型コロナウイルス感染症対策の充実・強化を求める意見書が提出されました。これらの議案は、常任委員会の審査を経て、本会議での採決の結果、可決、承認されました。

質疑者

- 石井 邦一 (いばらき自民党)
- 二川 英俊 (県民フォーラム)
- 高崎 進 (公明党)
- 山中 たい子 (日本共産党)
- 設楽 詠美子 (立憲いばらき)

こちらから録画映像でご覧になれます。 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

令和4年1月臨時会で可決された議案

議員提出

◆意見書 ○新型コロナウイルス感染症対策の充実・強化を求める意見書

知事提出

◆令和3年度補正予算関係

○一般会計補正予算 など

報告

○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算などについて審議 令和4年1月臨時会 代表質疑(要旨)



石井 邦一 議員
いばらき自民党
常陸太田市・大子町選出

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

議員 感染者数が急増する中、オミクロン株の特徴を踏まえた対策を発信し、ワクチン3回目接種の促進や病床確保、自宅療養者などのケアに取り組まなければならぬが、どう対応していくのか。

知事 大規模接種会場再開や保健所の人員増強、中和抗体薬の投与体制などを一層強化していく。第5波時の1.5倍の877病床を確保したほか、自宅療養者などにも適切に対応していく。これまでと異なる感染状況を発信し社会経済活動の維持に全力を挙げていく。

県民の命と生活を守る 公共事業の推進

議員 公共事業投資は、災害に強い県土をつくるだけではなく、雇用や消費を生み出すなど経済対策の一面もある。県民の安全な生活を守り、疲弊した地域経済を立て直していく上で、公共事業を今後どう進めていくのか。

知事 災害に強い県土づくりに向け、久慈川・那珂川の緊急治水対策や東関東水戸線の整備などを国と連携し推進していく。また、県事業として流域治水や道路冠水対策、橋梁の耐震化のほか、漁港などの機能強化、海岸防災林保全など緊急性が高い箇所への事業をスピード感をもって執行していく。(ほかに、本県経済活動の維持と力強い回復に向けた支援、県民生活への支援と未来への投資なども質疑)



二川 英俊 議員
県民フォーラム
ひたちなか市選出

新型コロナウイルス感染症対策

議員 検査体制の拡充・整備、ワクチン追加接種の加速化による感染予防対策のさらなる徹底にどう取り組んでいくのか。

知事 医薬品卸業組合に検査キットの確保を要請した。早期に職場復帰できるようにPCR検査機器を搭載した水素燃料電池バスの活用も検討する。県内5カ所の大規模接種会場を再開し、職域接種は、接種状況や課題などを把握した上で企業などを支援していく。県民が理解・納得の上で接種を受けられるよう、ワクチン追加接種の効果や安全性、副反応などの正しい情報を丁寧に説明する。ワクチンの確実な供給を国に強く要望する。



高崎 進 議員
公明党
水戸市・城里町選出

新型コロナウイルス感染症拡大防止策の強化

議員 オミクロン株は軽症や無症状が多いが、感染者の増加に伴い病床逼迫のおそれがある。幅広い検査とワクチン接種が急務。県大規模接種会場での夜間接種も必要と考える。また、小児接種は保護者への情報提供が重要だが、所見は。

知事 薬局などでの無料検査は期間を延長する。県大規模接種会場の接種時間も柔軟に対応していく。小児接種については、効果や安全性、副反応など正しい情報提供に努め、市町村と連携し準備する。(ほかに、新型コロナウイルス感染者への対応の強化、ひとり親世帯に対する支援も質疑)



山中 たい子 議員
日本共産党
つくば市選出

検査体制の拡充

議員 クラスターが増えている学校や保育所などでも定期検査を行うべき。接触があったが濃厚接触者と指定されなかった県民への検査に、どう対応するのか。

知事 抗原検査キットが全国的に品薄になつており、保育所などで予防的検査を直ちに実施することは困難。感染急拡大に伴い、濃厚接触者の対象を限定し検査しているが、今後、対象を有症状者に限定する緊急的対応も想定される。厳しい状況を踏まえ、濃厚接触が疑われる方は自宅待機いただき、症状が出た場合に医療機関を受診いただくようお願いしたい。(ほかに、いばらきあんしん割事業も質疑)



設楽 詠美子 議員
立憲いばらき
筑西市選出

低所得のひとり親世帯生活支援特別給付金事業

議員 真に必要な方に、申請漏れが起こらないよう、しっかりとした制度周知が必要。また、入学シーズンなどに合わせた迅速な支給ができるよう、スピード感を持った対応に期待する。給付金の円滑な支給をどのように実施していくのか。

知事 市町村とも連携し、丁寧な情報提供と対象者の把握に努めていく。給付時期については、申請が不要な方については3月までに給付、申請が必要な方については5月末までに速やかな支援が届くよう取り組む。(ほかに、新型コロナウイルス感染症拡大への対応も質疑)